

京都府知事 山田啓二 殿

## 質問書

私たちは本日、京都府京丹後市への米軍Xバンドレーダー基地の設置計画に反対し、貴職による「協力表明」の撤回を求め、貴職に対する抗議申し入れ書を提出した。

これに関連して、私たちは憂慮する京都府民として、以下の諸点についての貴職の見解をお伺いしたい。誠実に回答されることを要請する。なお、質問に対しては2月末日までに書面での回答を求めるものである。

以下、質問項目を列挙する。

### <質問項目>

1. 青森県は、2005年10月に日米政府間で合意され、2006年6月に航空自衛隊車力分屯基地内に配備された米軍Xバンドレーダーについて、配備以前の2006年3月26日に全県民を対象とした「県民説明会」を実施している。これに関連して、以下質問する。

- a) 車力基地を視察している貴職はこの事実を知っているのか？
- b) 知っているならば、なぜこれまで同じ米軍Xバンドレーダーが配備され、かつ用地取得を含む新たな米軍基地建設という重大な問題に関して、京都府民全体を対象とする「府民説明会」の開催は必要ないと判断してきたのか？その理由を説明していただきたい。
- c) 知らなかったのならば、このような青森県政の対応を踏まえ、府民からの意見聴衆と情報公開という問題に関して、京都府として今後どのような対応をとっていく所存であるのかお聞かせ願いたい。

2. 貴職は2014年1月18日に立命館大学で開催された「土曜講座」において、参加した府民の前に「この会場で、米軍基地受け入れについて、知らない人が多かったのは意外でした。もう少し知らせていかなければいけないな、と思いました」と発言している。しかし、これ以降も京都府としての積極的な情報発信・情報公開が進んだ痕跡が何ら見られない。当日の貴職の発言を踏まえ、今後どのようなかたちで府民に対するこの問題の広報と情報公開を充実させていくつもりなのか、貴職の見解をお伺いしたい。

3. 新たな米軍基地建設予定地の周辺地域においてはハヤブサ（絶滅危惧種）やアベサンショウウオをはじめ希少生物が生息していることがこれまでも報告されている。こうした希少生物を保護する見地から、米軍Xバンドレーダー基地建設に関連して、京都府はどのような調査と検討をおこなってきたのか、あるいはこなかったのか、これまでの経緯を説明願いたい。また、生態系の保全に関わる問題について、今後どのような方針で臨もうとしているのかお聞かせ願いたい。

4. 私たちの認識によれば、米軍Xバンドレーダー基地建設は周辺の「重大な景観の変更」を伴うものである。貴職がご存知の通り、穴文殊は京都府のレッドデータブックにおいて「緊急に保護すべき地質」と記され、清涼山九品寺参道のクロマツは「京都府自然200選」に指定されている。これに関して、どのような部署のどのような根拠にもとづいて、米軍Xバンドレーダー基地建設は『「重大な景観の変更」を伴うものではない』と判断されて「協力表明」をされたのか、貴職の見解をお伺いしたい。

5. 在日米軍人・軍属による事件・事故が絶えないという現実から、地元にとどまらず京都市を含む府下全体で軍人・軍属の移動とそれに付随する事件・事故が発生しうる可能性について心配する声が多くあがっている。京都府としてこのような府民の懸念に対してどのように対処しているのか、貴職の見解と政策を伺いたい。

6. 私たちの認識では、2013 年末の米軍用地取得に至る過程では、地権者への契約合意を取り付けるために、異様で通念的社會慣行を無視したあまりにも強引な工作が近畿中部防衛局の職員によって行われてきた。しかし、京都府総務部調整課の職員はそうした事実を知らなかったと発言している（2013 年 12 月 20 日）。府民の安寧な暮らしを守るべき行政として、そんなことでは話にならない。これに関して以下、質問する。

- a) 米軍基地建設をめぐる状況の進捗について、京都府としてどのように把握・監視する態勢をとっているのか？
- b) 2013 年 12 月 12 日の日米合同委員会において合意された在日米軍への提供用地について、ここにどのような建造物がつくられる予定なのか、現時点で京都府として把握しているのか否か、お聞かせ願いたい。また、把握しているならば、それを府民に対して公開されたい。
- c) 前記 b) 項について、把握していないならば、京都府として在日米軍および防衛省に対して、それに関する情報公開を強力に要請すべきだと考えるが、貴職の見解をお伺いしたい。
- d) 小野寺防衛大臣は「2014 年内に米軍レーダーを設置予定」と発言し、また各種報道によれば「今春」にも米軍基地用地の工事着工が予定されていると報道されている。貴職は工事着工の予定時期を把握されているのか？また、そうした情報は周辺住民、京丹後市民、京都府民に対して公開されるべきだと考えるが、それについて貴職の見解をお聞かせ願いたい。

7. 米国は在日米軍基地の設置および運用において、「日本環境管理基準」にもとづく調査および必要な計画を建てることになっているが、これはこれまで日本の市民には公開されておらず、外部からの監視・検証ができない状況にある。また京丹後市の X バンドレーダー配備に関しては、それも現在までなされていない状況だと認識している。それゆえ貴職においては「日本環境管理基準」にもとづく調査および計画の公表を強く要求すべきだと考えるが、この点についての貴職の認識と見解を伺いたい。

8. 貴職は 2013 年 9 月 19 日の「協力表明」にあたっての確認・要請事項のなかで、防衛大臣に対して日米地位協定の「絶えざる改善」を掲げている。私たちはこの問題について、第一次裁判権の回復を含む同協定の抜本的改定が必要だという立場だが、その上で、この日米地位協定をめぐる問題について、貴職が要求した同協定の「絶えざる改善」を実現するために、京都府としてどのような態勢で、どのような努力をこれまでしてきたのか、今後さらにどのような努力をしていくつもりなのか、お聞かせ願いたい。

以上、京都府民として、貴職の真摯な回答を求めます。

米軍 X バンドレーダー基地反対・京都連絡会  
共同代表 大湾宗則 上岡修 白井美喜子 木原壯林 瀧川順朗 仲尾宏  
連絡先 075-467-4437 kyogamisaki2013@yahoo.co.jp